

【鑑賞支援】

- 手話通訳
- 要約筆記
- 聴覚障害者用
ヒアリンググループ
- Ontenna(オンテナ)

音楽で彩る 冬のひととき

彩の国バリアフリー・コンサート

2026 2/23(月祝) | 埼玉会館 小ホール | 13:30開場
(14:00開演)

入場料 無料 (定員400名)

※定員を超える応募があった場合は抽選します。

※申込期間終了後、応募者全員に封書で抽選の結果を通知します。

申込期間 11月21日(金)~1月30日(金)

申込方法 必要事項(代表者氏名、住所、電話番号、応募者数)を入力・記入し、以下のいずれかの方法でお申し込みください。

電子申請システム https://apply.e-tumo.jp/pref-saitama-u/offer/offerList_detail?tempSeq=104390

ハガキ 〒330-9301 埼玉県障害者福祉推進課 社会参加推進・芸術文化担当

※郵便番号と課名を記入すれば住所を省略できます。



▲電子申請
システム

※車椅子でご来場のお客様およびヒアリンググループのご利用を希望される方は、申込時に必ずその旨ご記入ください。

※本公演は音を体で感じる Ontenna(オンテナ)をご利用いただけます。ご希望のお客様は申込時に必ずその旨ご記入ください。

※目の不自由な方はお電話による申込みも承ります。



Ontenna(オンテナ)とは?

髪の毛や耳たぶ、えり元やそで口などに身に付け、振動と光によって音の特徴を、からだで感じる全く新しいユーザインターフェースです。ろう・難聴者と聴者が共に楽しむ未来を目指し、ろう者と協働で開発しました。

当日の御入場に際して

当選者には入場券を郵送しますので、必要事項をご記入のうえ、ご持参ください。



ヴァイオリニスト 川畠 成道(かわばた なりみち) Narimichi Kawabata

視覚障害を負った幼少期にヴァイオリンと出会い音楽の勉強を始める。桐朋学園大学卒業後、英国王立音楽院へ留学。1997年、同院をスペシャル・アーティスト・ステイタスの称号を授与され首席卒業。翌年、東京・サントリーホールにおいて小林研一郎指揮、日本フィルとの共演でデビュー。その後、英国と日本を拠点にソリストとして精力的な活動を展開。毎年数多くのリサイタルを行う。国内外の主要オーケストラとも多数共演。ガルツブルク・モーツアルテウム管弦楽団、スロヴェニア国立マリボル歌劇場管弦楽団、ボローニャ歌劇場室内合奏団などにソリストとして迎えられ、いずれも高い評価を得ている他、

欧州最高のオーケストラのひとつであるウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団の日本ツアーリストとして成功を収めるなど着実な歩みを進めている。CDは、ファースト・セカンドアルバムがそれぞれ20万枚の記録的大ヒットとなり大きな話題を集め、2018年のデビュー20周年記念アルバム「J.S.BACH 無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパルティータ BWV1001-1006」まで、15枚をリリース。尚「ザ・ベスト」と「クライスラーを弾く」、「無伴奏の世界」は、レコード芸術誌で特選盤に選ばれている。デビュー当初より音楽活動の傍ら、積極的に国内外でチャリティコンサートを行う。中学音楽鑑賞教材や高校英語・現代文教科書、高校入試問題やNHKラジオ高校講座「現代文」に映像や文章が使用される等、社会派アーティストとしても多方面に影響を与えていている。文部科学省スペシャルサポート大使。

＜川畠成道オフィシャルサイト <https://www.kawabatanarimichi.jp>＞



ピアニスト 大伏 啓太(おおぶしきいた) Keita Obushi

福島県出身。9歳より桐朋学園「子供のための音楽教室」仙台教室にてピアノ、合唱、ソルフェージュを学ぶ。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、同大学ピアノ科を経て同大学大学院修士課程を優秀な成績で2012年に修了。これまでにピアノを明石 美絵、庄司 美知子、菅野 潤、多 美智子、江口 玲、各氏のもとで研鑽を積む。野島 稔、V.プロンズ、B.カニーノ各氏の薰陶を受ける。2003年第57回全日本学生音楽コンクールピアノ部門高校の部全国大会第1位、2006年第75回日本音楽コンクールピアノ部門第3位、2009年第6回安川加壽子記念ピアノコンクール第3位、2015年

ピアーネ国際コンクール(ドイツ)優勝など、国内外のコンクールで優勝、入賞を重ねる。日本音楽コンクール入賞者シリーズでの本格的なデビューを皮切りに、各地に於いて定期的にソロリサイタルを開催している他、これまでにソリストとして東京交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団等、国内オーケストラと多数共演している。2010年に日本演奏連盟主催のリサイタルシリーズにおいてオールショパンプログラムで行った演奏会は、月刊ショパン誌上にて「日本が見守りたい逸材」と絶賛された。室内楽においても国内外の著名な演奏家との共演を重ね、2014年にはチェロ部門の共演者として日本音楽コンクール審査員特別賞を受賞したほか、ヴァイオリニスト大谷康子氏、神尾真由子氏、渡辺玲子氏のマスタークラスのアシスタントを務める。自身初のソロによるCD『FANTASIE』を2018年7月にリリース。音楽現代誌にて注目盤、レコード芸術誌にて準特選盤に選出されるなど、高い評価を得ている。西本幸弘氏と共にCD『Violinable Discovery vol. 2』が2016年秋に、同シリーズvol.4が2018年秋に、チェリスト佐藤晴真氏とのCD『The Senses』(ラームス作品集)が2020年秋に、それぞれリリースされている。現在、桐朋学園音楽大学、東京音楽大学両校において教鞭を執るほか、ピアニスト、室内楽奏者としても幅広く活動している。ウェブサイト <https://www.keitaoobushi.com>

会場アクセスについて



会場

埼玉会館 小ホール

〒330-8518 さいたま市浦和区高砂3-1-4

TEL: 048-829-2471 (休館日を除く9:00 ~ 19:00)

●JR浦和駅(西口)下車 徒歩6分

●上野駅から約20分(上野東京ライン)

●大宮駅から約8分(京浜東北線・宇都宮線・高崎線・湘南新宿ライン)

●新宿駅から約26分(湘南新宿ライン)

●国道17号の県庁前交差点から東側(浦和駅方面)へ道なりに約500m進んだ左側

●駐車場は、台数に限りがありますので、電車等の交通機関をご利用ください

ますようお願いいたします。

(地下駐車場: 39台うち2台は車椅子使用者専用、350円/時間・上限なし、高さ制限2m)

音声コード

専用の読み取り機

利用して音声で内容を聞くことができます。

お問い合わせ

埼玉県福祉部 障害者福祉推進課(社会参加推進・芸術文化担当)

TEL: 048-830-3312

FAX: 048-830-4789

E-mail: a3310-03@pref.saitama.lg.jp



埼玉県マスコット
「コバトン」「さいたまっち」

